

「救急車を呼ぶ前に」



～市民が行うトリアージ～

はじめに

相模原市内の平成25年中の救急出場件数は、3万3,688件で過去最多となり、年々増加傾向にあります。

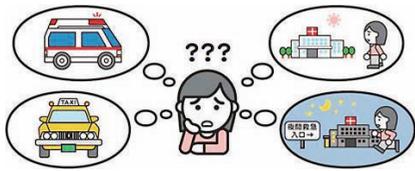
救急車や救急医療には、限りがあります。

救える命を救うために、どんなときに救急車を呼んだ方がよいのか、救急車を呼ぶ前に、市民の皆さまにご家庭で考えていただくトリアージが、今、必要とされてきています。

※ここでいうトリアージとは、病気やけがの症状の程度に応じた緊急度を判断することをいいます。

市民が行うトリアージ

病院に行った方がよいか、行かならば、救急車を呼んだ方がよいか、自分で病院やクリニックを受診した方がよいか、どれぐらい急いで受診した方がよいか、などについて、症状に応じた緊急度を、市民の皆さまに、まずご家庭で考えていただくものです。



緊急度は、「赤」「黄」「緑」の3つに分類されています。

赤	『救急車を呼びましょう』 緊急度が高いと思われます。今すぐに119番に電話しましょう。
黄	『今すぐに医療機関を受診しましょう』 2時間以内を目安に病院に行かれた方がよいでしょう。
緑	『医療機関を受診しましょう』 緊急ではありませんが、受診した方がよいでしょう。夜間でしたら、翌日の診察でも構いません。

このような症状がみられたら、緊急度は「赤」です。
ためらわずに119番に連絡して、
『救急車を呼びましょう』



大人の場合

- 顔**
 - 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
 - ニッコリ笑つと口や顔の片方がゆがむ
 - ろれつがまわりにくい、うまく話せない
 - 視野がかける
 - ものが突然二重に見える
 - 顔色が明らかに悪い
- 頭**
 - 突然の激しい頭痛
 - 突然の高熱
 - 支えなしで立てないぐらい急にふらつく
- 胸や背中**
 - 突然の激痛
 - 急な息切れ、呼吸困難
 - 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
 - 痛み場所が移動する
- 腹**
 - 突然の激しい腹痛
 - 持続する激しい腹痛
 - 吐血や下血がある
- 手足**
 - 突然のしびれ
 - 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

小児(15歳未満)の場合

- 顔**
 - くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い
- 頭**
 - 頭を痛がって、けいれんがある
 - 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある
- 胸**
 - 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い
- おなか**
 - 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
 - 激しいおなかの痛みで苦しがり、嘔吐が止まらない
 - ウンチに血がまじった
- 手足**
 - 手足が硬直している

※その他の緊急度の判断の詳細については、市のホームページをご覧ください。

(URL) <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kyubyo/000730.html>



救急車が来るまでに用意しておくこと

救急車を呼んだら、こんな物を用意しておくことで便利です。

- 保険証や診察券
- お金 靴
- 普段飲んでいる薬 (おくすり手帳)



乳幼児の場合は上記に加えて、下記を用意してください。

- 母子健康手帳
- 紙おむつ ほ乳瓶
- タオル



救急車が来たら、こんなことを伝えてください。

- 事故や具合が悪くなった状況や救急隊が到着するまでの変化
- 行った応急手当の内容
- 具合の悪い方の情報 (持病、かかりつけの病院やクリニック、普段飲んでいる薬、医師の指示など)

※持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、メモや、消防署で配布している「きゅうきゅう安心カード」にまとめておくことで便利です。



おわりに

急な病気やけがをして「病院を受診した方がよいか?」「救急車を呼んだ方がよいか?」と迷ったときに、市民の皆さまがご家庭で判断していただくための一助となることを目的に、『市民公開講座』を開催します。

なお、会場では、来場した市民の皆さまへ「救急受診ガイド」を配布いたします。ぜひ、会場へお越しください。

「救急車を呼ぶ前に」

～市民が行うトリアージ～

日時 平成27年1月29日(木) 午前10時～11時30分
会場 相模女子大学グリーンホール 多目的ホール
講師 森村 尚登 先生(横浜市立大学 医学部 救急医学 主任教授)
定員 200名(入場無料)
申込方法 1月18日(日)までに、本市コールセンターあてに電話でお申し込みください。
申込み先 相模原市コールセンター ☎042-770-7777
 (受付時間: 午前8時～午後9時 年中無休)
 ※事前申込みのほかに、当日受付も可能ですが、席に限りがありますのでご了承ください。
お問い合わせ 消防局警防・救急課 ☎042-751-9142

この市民公開講座は、全国の救急隊員等を対象に、隊員相互の交流や救急業務の充実と発展に資することを目的として開催する「全国救急隊員シンポジウム」のプログラム(一部)を、市民の皆さまに公開するものです。(消防局警防・救急課)

